



# 世田谷稲門会会報

平成26(2014)年12月20日  
**第 57 号**  
 発行人 世田谷稲門会 明一 一夫子次行男子  
 発行集 横田吉俊 浩邦信利 秀昭俊  
 編者 榎小寺兼江 大若鷺  
 事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東 3-1100-12 M2209  
 TEL/FAX 044-433-9202  
 林 馨 (はやし かおる)

**平成27年新春懇親会**  
**DeNA ランニングクラブ総監督**  
**瀬古利彦氏が講演**  
 2月7日(土)午後4時から  
 スカイキャロットにて

平成27年の新春懇親会は2月7日(土)に三軒茶屋のキャロットタワー26階にあるレストラン「スカイキャロット」にて開催予定です。  
 第1部は、早稲田大学出身で元マラソン選手、現DeNAランニングクラブ総監督瀬古利彦氏にご講演をいただきます。

第2部の懇親会では、世田谷の1000万ドルの夜景を眺めながら、おいしい料理と楽しい仲間との歓談に盛り上がりましょう。また、おなじみの福引抽選会も実施予定です。お楽しみに。

締めは女性初の応援部リーダー木暮美季さんにお願ひします。会費は8000円です。皆様お誘いあわせのうえ、是非ご参集ください。

瀬古利彦氏プロフィール  
 1956年7月15日、三重県桑名市生れ、元陸上競技・マラソン選手、陸上競技指導者。  
 1970年代後半から80年代



瀬古利彦氏

にかけて宗茂・宗猛兄弟、伊藤国光、中山竹通、新宅雅也らとともに日本長距離界をリードした。現役時代の国内外のマラソンで戦績15戦10勝。トラック競技においても5kmからマラソンに至るまでの日本記録を総ナメにし、2万5km、3万mでは世界記録(当時)を樹立した。2013年4月よりDeNAランニングクラブの総監督を務める。

2011年より(公財)日本陸上競技連盟理事、2013年より(一財)東京マラソン財団評議員

DeNAランニングクラブの活動はチーム公式ホームページで  
<http://dena.com/running/>

## 地域貢献活動スタート・・・新部会立ち上げへ!!

このたび世田谷稲門会は、『(仮称)地域貢献部会』として、地域貢献活動に取り組むことを正式に決定しました。特別部会という形で、少しですが来年から予算もつけられることになりました。

社会貢献・ボランティア活動は、個人的に、あるいは他の団体に既に活動されている方も多いと思います。世田谷稲門会として何が出来るか、何が役立つか、これから考え、実行していきたいと考えております。自己満足でなく、ましてや善意の押し付けであってはならず、かつ会員が余裕を持ってできること、達成感を感じられること、等々を考慮すると難しい問題は多々あります。

実際の活動として、今のところ募金を集めての寄付行為と清掃活動が挙がっていますが、具体策はまだ白紙です。会員の皆様の中には、『このような活動がよいのではないか?』『どこそこで清掃活動の手が足りなくて困っている。手伝いを検討できないか?』等のご意見・情報をお持ちの方がおられると思います。ぜひ皆様のお力やお知恵を集約して、世田谷稲門会としての地域(或は社会)貢献を進めていきたいと考えております。

参加のご希望、また、ご意見・ご質問等ありましたら下記連絡窓口(事務局)までご一報ください。

- ・ 林 馨 TEL/FAX 044-433-9205 E-mail : k.hayashi@pm-ms.tepm.jp
- ・ 篠崎章子 TEL/FAX 03-3305-4650 E-mail : shinoshoko@gmail.com

# ハワイアンを満喫 平成26年納涼会

## スカイキャロットにて

世田谷稲門会の納涼会はレ  
ディースクラブときぬた会の  
共催で、世田谷区のほぼ真ん  
中に位置する、三軒茶屋キャ  
ロットタワー26階のレストラン  
『スカイキャロット』を借  
り切り、盛大に開催されまし  
た。

参加者は総勢126名とこ  
れまでにない大勢のメンバー  
が勢揃い、受付でレディース  
クラブの方々からレイを首に  
掛けてもらい、5時の開会時  
には既に会場内は大いに盛り  
上がっていました。

総合司会露木茂さんの開会  
の辞に続き、横田会長のご挨拶と、杉並稲門会久保田会長  
のご挨拶を頂いた後、川村保  
夫さんのご発声で乾杯を行い  
ました。その後美味しい和食  
のコース料理とフリードリ  
ンクを堪能しながら、会員相互



司会の露木さん



横田会長の挨拶



ナレオエコルプラス



フラダンサー

楽しい懇談の時間となりました。  
いよいよお待ちたせの早稲田  
大学ナレオハワイアンズ  
OBバンド『ナレオエコル  
プラス』と早稲田大学『ハ  
ワイ民族舞踊研究会』現役女子  
学生による、生バンド演奏と  
ハワイアンダンスショーの始  
まりです。露木茂さんの司会  
によりカイマナヒラに始まり、  
聴きなじみのあるハワイアン  
音楽の、時にはリズムミカルに、  
時には優しい調べに酔いしれ、  
また現役女子学生のハワイア  
ンダンスショーには、その優  
雅な美しさに完全に引き込ま  
れました。

また、現役女子学生の指導  
でフラダンス講習が行われ、  
参加の皆さんがステージで楽  
しくダンスを踊られています。  
会は大いに盛り上がったまま、レ  
ディースクラブ主催の『ジャ  
ンケン大会』へ。有志の方々  
からご寄付をいただいた景品  
20数点を指してテーブル毎  
の予選会から始まり、本戦へ  
とジャンケンを繰り返す姿  
は、まさに遠い昔の少年少女  
の様でした。



岩上前会長のエール



ハワイアンの講習で盛り上がる

いよいよ楽しい会もお開き  
に近づき、岩上前会長の張り  
のあるお声のリードで我が母  
校の校歌をフルコーラス全員  
で斉唱し、夏の夜の宴を楽し  
み余韻とともに閉じました。

(国澤 俊一/記)

# 稲門祭開催さる (ホームカミングデー)

平成26年10月19日(日)、快  
晴のもと稲門祭が開催された。

イベント会場の大隈庭園で  
は朝9時には模擬店のテント  
が設営され、役員並びにゴ  
ドンブランドニングサービスの  
焼き鳥のプロが勢ぞろいし、  
お客様の方々の来場を今や遅しと  
待ち構えた。今年の世田谷稲  
門会は世田谷稲門会と隣合わせ、  
我々は缶ビールとウーロン茶、  
渋谷はワインを用意した。他  
の模擬店では、銘酒「獺祭」  
を売るサービスマンもあり、ジャ  
ズ演奏、フラダンス等盛り上  
がりを見せた。記念式典が終  
わる頃、役員数名が鈴木副会  
長のお孫さんが作ったチラシ  
を大隈講堂前で配布。2人以  
上の校友をターゲットに焼き



焼鳥販売中

大盛況の屋台



大隈庭園

幹事の皆さん

鳥販売の宣伝を行う。その成  
果か、午後3時には完売。  
3時15分から大隈講堂で役  
員が2014年稲門祭記念品  
抽選に出席、世田谷稲門会  
員から預かった117名分の  
番号をチェック。今年「東  
芝クリーナー」1点が最高景  
品。来年は總め買いの方が当  
たる確率が高いので、連番で  
とるようにしたい。

名簿と番号のチェックが終  
わったのが午後5時。あやう  
く当選無効になるところ、セ  
ーフでホッと一息。大隈講堂の  
前で応援部指導のもと「早稲  
田の栄光」、「紺碧の空」、「校歌」  
を斉唱して、午後5時8分、  
今年の稲門祭は終了した。

(富塚 兆弥/記)

## 杉並稲門会15周年 記念パーティー

平成26年11月22日(土)、早稲田のリーガ・ロイヤルホテルにおいて杉並稲門会15周年記念パーティーが開催されました。参加者312名の大パーティーで、世田谷稲門会からも横田会長、岩上前会長ほか総勢17名が参加してパーティーを盛り上げました。久保田貞雄会長の挨拶に始まり、映画監督の篠田正弘さんが講演をされました。早稲田に入学するまでの話、早稲田に入り競走部に入部して箱根駅伝2区を走るに至るお話しと、とても楽しく聞かせていただきました。その後、OBバンド TOMAPO による歌と演奏、YAMOS によるフラメンコダンスと盛りだくさんであったという間の3時間でした。元応援部の清水一平さん指揮の下、校歌を斉唱して閉会しました。

(榎並 俊一/記)



## 第6回早稲田大学 校友会ゴルフ大会

平成26年11月12日(水)、埼玉県の久邇カントリークラブで開催された。参加者は199名という大コンペだ。東、西、北コースの3コースを借り切り、ショットガンスタートという方式で各組が指定されたホールに分散して同時にスタートした。これによつて終了後の待ち時間が劇的に短縮された。世田谷稲門会も岩上前会長を筆頭に7名(2チーム)の精鋭を送り込み、団体戦、個人戦で優勝を目指したが、惜しくもどちらも上位入賞を果たせなかつた。団体優勝は横浜稲門会Aチームだった。次回頑張ろう。

(榎並 俊一/記)

参加者.. 岩上健一、島田實、宮坂尚利、熊谷慶紀、桃井清治、竹入啓子、榎並俊一



## 練馬稲門会ゴルフ会 150回記念会

平成26年10月17日(金)、高坂CCにて練馬稲門会150回記念ゴルフ会が実施された。当世田谷稲門会も招待され、岩上健一、青木誠司、榎並俊一、桃井清治の1組が参加しましたが、ゲスト稲門会80名を含めた130名の大コンペでした。

米山、岩殿両コースに分かれてスタート。競技方法は新ペリア方式。天候は快晴、後半風が強くなったが、まずは絶好のゴルフ日和。全ホール打ち下ろし、グリーンへは打ち上げと距離もありタフなコースの連続。その結果、世田谷勢は7位に青木氏、17位に榎並氏と健闘。パーティーもいろいろ趣向を凝らされており楽しい記念大会でした。

(桃井 清治/記)



## ＝母校の今＝(第28回)

### 早稲田キャンパスに新3号館が竣工!

早稲田キャンパス新3号館(写真参照)が予定より約1ヶ月半早い9月18日、同キャンパスの中心部にその全容を現した。旧3号館(以下「旧館」という)は1933年(昭和8年)に竣工、以後数次にわたり増改築を繰り返してきたが、今回全面的に建て替えられたもの。着工時の一昨年12月20日発行の当会報51号でその概略は紹介済みであるが、新3号館(以下「新校舎」という)の設計概要は、地下2階、地上14階、高さ約68mの重厚な複合高層校舎(写真参照)である。



今回の新校舎建設にあたってのコンセプト(概念・統一的視点)は『歴史を積み重ねてきた風景を次世代につなげる』であるが、新校舎はその思想に沿って建設されたという。即ち、旧館の南側正面エントランス

部分の再現、旧館の鉄製扉の再利用、旧館の瓦は職人が一枚一枚洗い直して再利用するなど、旧館を意識して再現した棟部分と、新感覚を盛り込んだ様々な空間や先進的機能を具備した高層棟の部分とが組み合わされた建物となっている。つまり、新旧両技術が複合した新しい校舎として再び姿を現した訳である。中でも、旧館を再現した棟と、先進的な高層棟とを組み合わせた新校舎の1階ホールは、旧館を知る卒業生にとって、「懐かしきあの中庭」を彷彿とさせるデザインで、新しさの中にも歴史を感じさせるスペースとなっている。さらに、高耐震性を備えた建物構造や、太陽光・太陽熱を利用した環境への負荷を抑える発電・空調システム等も採用されている。

いずれにせよ、今回の新校舎の建設は、伝統(技術)と先進(技術)の融和・融合を志向する早稲田の一つの試みであり、また挑戦でもあったと思うのだが……如何!



(大内 秀行/記)

## ブロック会だより

### 西北

#### ○「第32回西北会例会開催」

平成26年6月25日(水)17時よりNHK青山荘銀杏の間で会員30名の参加を得て開催。柏代表の挨拶のあと加藤禮子さん(昭27文)による「私とフィギュアスケートのこと」の講演を開始。岩上健一前会長がインタビューするという演出での講演。岩上氏の質問で加藤さんのプロフィール、功績の数々が明らかに。1926年(昭和元年)に大阪に生まれ、大阪音大、早稲田大学で学び、スケートは6～7才頃から、ジャズやバレーは音大時代、早稲田時代に身に付けられ、全てがプロとして世に出られ一流をなしたという。まさに華麗な経歴の“おばあちゃん”でした。

#### ○「第33回西北会例会開催」

平成26年9月7日(日)に開催。第一部は14時より代々木上原の「古賀政男音楽博物館」にてミュージアム講座“渡辺晋の世界”を拝聴。戦後のジャズブームで一世を風靡。プロデューサーとしても歌謡界の発展に貢献。平尾昌晃、ミッキー・カーチスの軽妙な話しぶりも楽しめた。

第二部は下北沢に移り、17時より「古城(こぎ)」で懇親会を開催。

参加者24名。

#### ○西北会秋季懇親ゴルフコンペ実施

平成26年10月24日(金)日高CCにて西北会ゴルフコンペを実施。今や常連の2名のゲストを招いて4組15名で熱戦を展開。競技方法は新ペリア方式。優勝は安定したプレーの奥野裕さん、ベストスコアは83と他を圧倒した岡田真臣さんが獲得。その後、下北沢の「北海道」に移り“反省会”を実施。競技者を上回る17名が集合。

#### ○サポーター・世話人会開催

平成26年10月20日(月)18時より下北沢、四川料理「天華」でサポーター・世話人会を開催。本年度後半の行事、来年度の納涼会についてそれぞれの方針を確認した。

1. 次回西北会：12月14日(日)PM5:00～8:00 NHK青山荘 講師：吉村善智氏
2. 初詣：平成27年1月7日(水)北澤八幡神社、新年会は下北沢「天華」にて
3. 納涼会：来年は西北会が担当。企画立案等早めの準備を確認

(桃井 清治 / 記)



第33回例会



西北会コンペ

### 玉川

平成26年7月21日(月)に総会を玉川区民会館で開催しました。本部から、島田幹事長と河野幹事にご出席いただき、29名出席の下、午前10時30分に開会。代表世話人の交代(井澤さんから小林昭一郎さん)と副代表世話人(新設ポスト)への真木郁夫さんの就任が発表された後、通例の議事が進行し承認されました。11時より会員の加藤昌男さん(NHKご出身・元アナウンサー)を講師に迎え「テレビと日本語の60年」の演題で講演会を行い、大変興味深く面白いお話を聞くことが出来ました。12時に隣の会場に移り、昼食を食べながらの懇親会に入りましたが、盛会裏に進み2時15分に散会しました。玉川会では定例行事に加え、秋と春の2回イベントを企画することになっています。



今年度の秋のイベントとして、10月29日(水)に東京消防庁池袋防災館での防災体験ツアーに参加しました。インストラクターが案内・指導してくれるツアー方式です。参加者は10名と少なかったのですが、9時45分に開始、地震コーナーで地震の仕組みと地震時に必要な行動の学習後、震度7の揺れを体験、救急コーナーで心肺蘇生法と人工呼吸、AEDの操作方法を学習し、心臓マッサージとAEDの操作を実践、消火コーナーで、消火器使用法の学習、消火栓による消火活動を体験しました。約2時間弱のコースでしたが、災害に備える意味でも又とない大変有意義且つ貴重な体験でした。終了後、最寄りのイタリアンレストランに立ち寄り、昼食会を催して散会しました。

(太田 隆 / 記)

## 千歳

平成26年第2回目の企画として、仙川駅付近散策会と懇親会を10月11日(土)に開催しました。

午後3時に京王線・仙川駅に集合、10名にて仙川駅付近の散策を行いました。安藤忠雄ストリート(通称)～仙川寺町通り～国分寺崖線～武者小路実篤記念館・実篤公園～甲州街道・仙川一里塚跡を約1時間半かけて巡りました。

地元に住んでいながら意外に知らないこと・場所があり、認識を新たにしました。

午後5時から調布駅前の調布クレストンホテルに場所を移し、19名が出席し、懇親会を開催しました。鈴木代表世話人の司会により開会、始めに事務連絡として、「10月19日の稲門祭の案内」、「記念品購入のお礼と目標額達成の報告」、「世田谷稲門会の地域貢献活動の推進」、「来年の新春懇親会の案内」が報告されました。

長島春雄氏の乾杯の発声により懇親会が始まり、食事を進めながら、各人の自己紹介・近況報告がなされ、改めてその人となりを知ることが出来ました。また、千歳会の中に趣味の会を設けるかが議論され、今後の検討課題としました。

和やかな中にも充実した懇親会となり、盛況のうちに校歌斉唱にてお開きとなりました。

(戸田 昇/記)

## けやき

けやき会ではこれまで、年4回の懇親会を実施してきましたが、今年度は本部の行事の日程もにらみながら、両方に参加していただくことを目指して、年3回とし、その代わり各回に嗜好を凝らし「行動するけやき会！」としてあちこちに出かける内容としています。

そこで第2回目の納涼会は8月1日(金)に新宿末廣亭での観芸会と、近くの「随園別館」での中華料理を楽しみました。開演から4時半までたっぷりと漫才、落語、曲芸などで笑いあった後は、中華レストランに席を移しお酒とお食事とおしゃべりを楽しみました。横田会長、鈴木副会長、井澤元幹事長にもご参加いただき、和やかなひと時を過ごしました。年内は11月29日(土)に、第3回秋の懇親会を予定しています。“神楽坂ぶらさんぽ”として、現在評判のレストラン「八百萬」での軽子坂御膳を味わい、神楽坂界限の路地裏を地元の文化や歴史に詳しい案内人と散策します。

(井上 文/記)

## さくら

第37回さくら会懇親会は平成26年10月12日(日)正午より三軒茶屋の銀座アスターにて開催。

当日は本部から参加の横田吉明新会長及び鈴木宏治、柏良子両氏による挨拶と近況報告の後に、山内章次氏の乾杯の音頭により開催しました。懇親会は中華料理を楽しみながら初参加の佐藤喬、内藤娃子両氏より自己紹介を兼ねたスピーチと前原祖彦氏の大東亜戦争の歴史的考察、関根昌一氏の東京大空襲における早稲田キャンパスでの凄まじい実体験でそれぞれ深い感銘を受けました。最後は渡邊義治氏の閉会の挨拶に続き恒例の校歌『都の西北』の合唱と記念写真撮影で解散となりました。

(江原 利次/記)



## キャロット

平成26年7月2日(水)午後7時から赤坂の「バルバラ」で花田玲子さんのピアノ弾き語りソロライブに総勢9名の会員が参加し、シャンソン、ロシア民謡、日本の懐かしい歌を堪能しました。

来年5月1日(金)午後6時から三軒茶屋のキャロットタワー1階のシアター・トラムにおいて「第3回稲門寄席」を開催します。出演は早稲田大学出身の落語家さん、ヴァイオリン漫談の方をお招きします。

詳細は11ページの記事と同封チラシをご参照下さい。ご来場の程よろしくお願ひします。

(富塚 兆弥/記)



花田玲子さん

## きぬた

平成 26 年 8 月 30 日(土)に開催いたしました納涼会につきましては、多数の会員の皆様にご参加を頂き誠にありがとうございました。また、露木副会長はじめナレオハワイアンズ及び民族舞踊研究会の皆様方にも担当幹事会として深く御礼申し上げます。

きぬた会は年 3 回の会員向けの行事を開催してきておりますが、本年度第 2 回目の行事につきましては、納涼会の時期とも重なった事もあり、順延とさせて頂きました。今号では、10 月 5 日(日)に行いました世話人会の報告をさせて頂きたいと思っております。いつもは成城駅北口にある馴染みの店「成城」でほぼ毎月開催を目標に世話人会を実施しておりますが、今回は少し気分を変えて駅南口にある「旭鮪」にて納涼会の打ち上げを兼ねて行いました。当日は國澤代表をはじめメンバー 7 名全員が参加して、納涼会の振り返り、次回の行事予定、会員数の増強策等について話し合いを行いました。



次回の行事は、3 月中旬頃に北垣法子さん(昭 43 文)に「ウクライナの歴史」についての講演と懇親会を予定しております。  
(畔上 孝夫/記)

## 部会だより

### 青年

平成 26 年 11 月 5 日(水)、青年部例会を四ツ谷にあるジャスミンタイというタイ料理屋で開催しました。17名の青年部の方々にご参加いただきわいわいと楽しく盛り上がりました!

今回は初参加となる青年部有志の方が 2 名となり、青年部所属のメンバーも増加し参加していただける方も徐々に増えてきたのは嬉しいかぎりです。次回例会では 20 名超えを目指したいと思っております!



青年部例会では毎回いろいろなジャンルのお店で開催し、今回はエスニックな雰囲気のもとでの例会となりましたが、料理や飲み物も含め皆さまに気に入っていただけたかと思っております。他の稲門会の方々も、是非機会がありましたらご利用ください。また、次回例会は来年 2 月ごろに開催予定ですので、ご興味がある方はお気軽にご連絡くださいませ。  
(佐伯 潤/記)

### レディースクラブ

今回の会報一面に地域貢献活動スタートの記事がありますが、レディースクラブでは、一部有志を中心に 7 月頃从这个課題に取り組んできました。この度、本部が特別部会として活動に取り組むことを決定したのでそこに合流することとしたのです。言わば、先鞭を付けたわけですね。

レディースクラブの中には、既に色々なかたちで地域貢献活動に関わっている方がいます。町会など地域コミュニティ団体で活躍している方、特技を活かして日本語を教えたり、仲間と一緒に高齢者のための交流サロンを開いている方。また、今はなにもしていないけれど今後はぜひ参加したい、という強い意欲を持っている方も多いです。

地域のなかで様々な人たちとふれあい協力しながら活動していく、というのは女性のほうが得意かもしれません。この力と熱意を地域貢献部会に活かしていけたら、きっと素晴らしい活動になるはずですよ。

(篠崎 章子/記)

### 芸術芸能鑑賞

芸術芸能鑑賞部会の年 1 回の総会を 9 月 20 日(土)に 18 名の出席を得て渋谷の「パンダレストラン」で行いました。事前のアンケート調査で分野別の関心度上位は①落語②歌舞伎③クラシック音楽が上位に並び、以下はジャズ、シャンソン、ポピュラー音楽、文楽、現代演劇と続き、歌謡曲ファンは意外に少なかったことを報告しました。昨年度《2013 年 7 月から 14 年 6 月まで》の鑑賞会案内は 20 回で延べ参加人数は 183 名を数えました。会員は現在 43 名で増えています。9 月以降の案内は 9 月 26 日の三越落語会に 14 名、19 日の中野

サンプラザの映画音楽に7名参加、11月19日の三越落語会は芸術祭受賞者特集で12名参加の予定です。また、12月8日のアンサンブルOFトウキョウの第113回定期演奏会には5名が新たに参加の予定です。

この先は1月下旬の三越落語会などの案内を予定しています。

(鈴木 宏治 / 記)

## ゴルフ

平成26年3回目のコンペ「第80回世田谷稲門会ゴルフコンペ」は10月8日(水)富士国際ゴルフ倶楽部富士コースで開催されました。

年に4回のコンペが公式となってから20年の歴史を刻んだ記念大会です。

当日は曇り空で富士山は見えませんでした。風はなく絶好のゴルフ日和の中39名の参加者がスコアを競いました。やや距離のあるAグリーンで競技が行われ、かつピンの位置が難しい所に設定され、苦勞された方もおられました。優勝は秋田滋さん、グランドシニア優勝は岩上健一さん、シニア優勝は旭正勝さん、レディース優勝は竹入啓子さんでした。

参加者：

青木明彦、青木誠司、秋田滋、旭正勝、網野久男、井澤貞夫、井澤美知恵、磯田進、伊藤誠三、岩上健一、江口工、榎並俊一、河内文雄、菊池吉晏、工藤隆司、熊谷慶紀、倉田富士男、近藤国紀、櫻井昭一、柴田昇、島田實、清水泰治、竹入啓子、戸田昇、富塚兆弥、西野哲夫、長谷川宏、浜田昭子、浜田康夫、平井恒夫、星野裕、松浦晋三郎、宮坂尚利、桃井清治、森春野、森昌治、横田吉明、吉村豪介、米窪義健



(工藤 隆司 / 記)

## スポーツ観戦

平成26年11月3日(月)、好天に恵まれた神宮球場で、東京六大学野球・早慶戦を18名が観戦しました。

今シーズンは立大の優勝が濃厚と見られていましたが、終盤に至り早慶戦で連勝した方が優勝、連勝できない場合は明大が優勝するという、過去に例のない展開になりました。前日の1回戦で先勝した早大はこの試合に勝てば優勝という試合でした。

試合は初回立ち上がりから慶大が積極的な攻撃で3点を先取し、対する早大は好機に主力打者が不振で反撃できず、4対5で惜敗でした。そのため優勝は明大となり無念なシーズンでした。しかし翌日は慶大を破り2位を確保しました。試合終了後は恒例の懇親会を近くのレストランで行い、来春の強い早稲田を期待して納会としました。その他、スポーツ全般に亘り、他校の強化策はめざましく、早稲田の更なる強化が望まれます。

(岸田 正和 / 記)



## 釣り

釣りを知らずに老いるとは、勿体ない。初心者入会歓迎します。

6月21日、川崎つり幸よりキス釣り、4名参加。中潮なれど潮早く不漁。

7月26日、中小鰻釣り、8名参加。コマセが効いてきたら35cmの真鰻が釣れ始めた。丸々太った鰻は最高に美味でした。

9月17、18日、狩野川にて鮎友釣り。清水、柴田、2名。不漁5匹。

溪流釣りは柴田の単独釣行。伊豆狩野川支流にて。3～9月14日入渓。解禁日より良く釣れて30cm超45cm11匹。以下多数釣ることが出来た。

9月19日、京橋中華料理店新世界にて食べ飲み放題の納涼会。部負担有り会費2100円。

10月18日、霞ヶ浦ホソにて小鰻釣り、トップ70匹。

10月26日、剣崎沖にて間口港利一丸仕立て8名、釣り場着すぐに釣れ始め竿頭17匹。3.3kg75cm級。

11月以降沖釣りはカワハギ、ヤリイカ釣りになります。



(柴田 昇 / 記)

## ウォーキング

平成26年10月19日(日)に参加9名。骨董市(毎月第1日曜)もある新井薬師、氷川神社、明治寺百観音霊場(西国33坂東33秩父34)の100札所を巡りました。歴史民俗資料館裏手の山崎家石臼木樽を横目に新青梅街道の蓮華寺へ。東洋大/哲学堂創立者で明治期の妖怪博士・井上円了の墓石(井桁の上に○)に興味を持ち、米軍機銃掃射跡のある旧野方水道塔、哲学堂公園の構内を散策。妙正寺川調整池をへて夕暮れの新井薬師前駅に戻りました。



(倉田 豊/記)

## 将棋囲碁

### 第9回オール早稲田将棋祭

平成26年9月20日(土)学生会館にて開催されました。参加者は将棋愛好OBの20名。世田谷からは毎年4名は参加していたのだが今年は飯田保則、柴田昇の2名のみでした。毎年指導棋士を務めてくれる女流元名人蛸島彰子棋士、森敏晴大会審判長、大泉、佐久間審判をはじめ稲棋会の方がたには大変にお世話をいただいた。参加してくれた稲棋会の先進理工学部2年の鈴木悠子五段は全国学生将棋選手権で2連覇を達成しています。4回戦の結果当世田谷の飯田君が3年連続の優勝を勝ち得ました。



また10月19日の稲門祭では蛸島女流棋士を迎えて、将棋サロンを12時から8号館地下B106教室で開催します。将棋愛好の方は是非参加ください。

(柴田 昇/記)

## 俳句

毎月第4月曜日の午後1時から日下野由季先生の指導により、前以って先生から出された兼題(9月は柿、10月は夜長)と季節に相応しい俳句3句を持ち寄って句会を開催しています。当日は誰の句か分からないようにしてから、好きな句を各人が5句ずつ選んで得点を競い、最後に由季先生からすべての句に対する講評を頂き勉強と親睦のひと時を楽しんでいます。



里山の柿を見せたる民家園	江原利次	花活けて今日の始まる秋の朝	河村暉子
乗替へて醤油の町は柿日和	暮田忠雄	吹く風を銀色にして芒原	富塚兆弥
シテ面掌にして白き良夜かな	田中 勝	渋柿や築地めぐらす奈良の家	矢後勝洋
蟻螂のピカソめく顔われに向く	松尾 守	単純が究極となり秋刀魚焼く	榎並俊一
ふたりいてふたつ灯す夜長かな	家井雪子	月蝕の移ろいを見る夜長かな	草谷好孝

(江原 利次/記)

## カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日午後1時~5時 BIGECHO 下北沢駅前  
 [第86回] 5月3日-16名 [87] 6/7-16名 [88] 7/5-13名 [89]  
 暑気払 8/3-17名・8/10-13名 [90] 9/6-21名 [91] 10/4-14名  
 [92] 11/1-15名

■<暑気払>マダムチョウの店千歳船橋(リクエスト抜粋)  
 ♪さよならだけの人生・わかって下さい・花びら慕情・風に立つ・  
 絆・矢立の杉・南部蝉しぐれ・ほろ酔い酔虎伝・愛の賛歌・黄昏の  
 ビギン・センチメンタルカーニバル・南国の夜・古城・浪曲子守歌  
 ・人生の扉・手紙~拝啓15の君へ・満天の星・竹・ノラ・星の流れに・  
 愛の國・無錫旅情・You Raise Me Up・ダンディズム♪



(倉田 豊/記)



## 食べ歩き

第61回例会は、平成26年9月28日(日)港区赤坂・松葉屋にて開催されました。

代表的な再開発複合施設の赤坂サカス。その39階建てBizタワー足元の路地に所在する老舗料亭の面影を残す料理店です。

世田谷稲門会会長に今年6月就任された横田吉明氏による乾杯により会は開かれました。中程で本部役員より10月19日開催の稲門祭の案内や担当幹事から野球とラグビー観戦会のお知らせ等があり、当店自慢の秋の味覚松茸料理を満喫し、懇談のち参加者による記念写真でもって会を終えました。

なお当会参加者は毎回盛況で今回は45名の参加を得ました。

次回は11月28日(金)JR恵比寿駅前の「春秋ゆらり」にて開催予定で会員には追って詳細連絡します。

(加藤 隆夫/記)



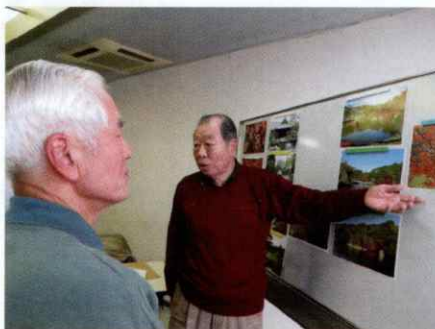
## 麻雀

1. 平成26年6月8日(日)、梅雨空下29名の善男善女が集い覇を競った。初戦から飛ばした国澤氏が最終回気を抜いた隙を突いた老練中村氏が逆転優勝を遂げた。優勝 中村晃二、準優勝 国澤俊一、3位 田島功統、4位 下谷内堯、5位 橋本大道、6位 小河原泰
2. 7月12日(土)、クーラーの下、26名の紳士淑女が腕を競った。初戦から飛ばした飯田氏が2位以下をダブルスコアで圧勝した。優勝 飯田保則、準優勝 小河原泰、3位 田島功統、4位 高橋善幸、5位 興田隆、6位 長谷川義樹
3. 9月7日(日)、日本晴れに誘われ26名の男女麻雀愛好家が優勝を目指し奮戦した。前半から優勢だった国澤氏が追い続ける武田、高橋両氏を僅差で下し辛勝した。優勝 国澤俊一、準優勝 武田一成、3位 高橋善幸、4位 加藤禮子、5位 河村卓郎、6位 松下忠史
4. 10月11日(土)、三連休の初日25名の男女が集い口と腕と運をフル稼働させ覇を競った。星の潰し合いの結果、最終回トップを取った郡山氏が乱戦を制した。優勝 郡山弘文、準優勝 河村卓郎、3位 加藤禮子、4位 田島功統、5位 清水胤弐、6位 吉村善智

(下谷内 堯/記)

## 写真

例会はきちんと行っており、例会終了後は、出席者全員で東京農大交友会館の1階のレストランで昼食を取ります。そこで色々な疑問や新しい事等の会話が弾み、親睦を深めます。写真の知識向上が図られます。



### (1) 例会実績報告

例会：10時～13時30分 東京農大校友会館 教室 (通常は第3木曜日)

2014年7月15日、8月は休会、9月18日、10月16日

### (2) 今後の予定

11月20日、12月18日、2015年1月22日 (第4木曜日に変更)

2月19日、3月19日

(種谷 鴻成/記)

# 会員の広場

## 「奉仕3代に生きる」 （父の予見したものは）

鈴木 宏治（昭38商）



我が家の家系は少し珍しい存在かもしれない。先祖は江戸幕府直轄の関東の代官職である。祖父・父・私の三代に受け継がれたのは、「奉仕の精神であり、その実践である」。それは無償の奉仕であり、見方によっては自己満足の馬鹿な社会貢献かもしれぬ。

祖父は江戸時代の生まれで、父は明治20年に8人兄弟の4番目として誕生した。祖父は三男坊で、明治維新で武士階級の失業・壊滅の為、庄屋で大地主の鈴木家の長女と婚姻し、婿入りした。この祖父は有名な人情家で大変心優しい人物だったらしい。次男として生まれた父は、親の寵愛を受け、明治40年に無謀にも当時の官立大学を退学し、アメ

リカの大学に私費留学した。横浜港からの出航風景が複数の新聞を飾り、シアトル入港時には日本のシアトル総領事の出迎えを得たらしい。

コロンビア、ニューヨークの二つの大学を卒業し、その後現地の実業界に職を得た。白人社会の中での仕事は今では珍しくも無いが、当時はかなり稀なケースといわれた。在米15年で帰国し、その直後に結婚し、その3年後に関東大震災に遭遇した。帰国後は複数の大手企業役員や会計事務所の経営や法政・日大の両大学の講師を務めた。父は帰国後に特に心血を注いだのは、福祉や奉仕部門に多額の資金を投入した。育英事業で学生への学資の援助や菩提寺（真言宗）の再建にも取り組んだ。在米時代にアメリカの優れた奉仕活動を参考にしたと思われる。

父は関東大震災で資産の大部分を失った。自宅も個人事務所も生憎にも隅田川の東側にあった。木造の登記所も消失した。200メートルの差で命だけは助かった。残念ながら事務所の所員は全員死亡したらしい。上野の山に逃げた数日間過ごし、被災した知

人家族を引きつれ、鉄道再開後、自分の故郷へ向かった。この時、上野に避難した被災者は50万人とのことであった。即死者は10万人を超えた。自らも全てを失った父は、他人の面倒どころではなかった筈だが、実家で、被災した3家族を1年くらい面倒を見たらしい。今と違い、被災者には手厚い援助は殆どなかった。祖父、父に一貫していたのは奉仕、人を助けることであつた。

父のその直後の行動は見事だった。家を失い、着の身着のままで助かった父は、在米時代の友人や企業の住所録・電話番号などを全て消失したが、記憶を辿り、アメリカへ個人的に日本への支援金や支援助物の依頼をして、大きな成果をもたらした。後日、天皇陛下からその功績に対し個人表彰を受領している。更に、少し落ち着いてから、飛行機時代の到来を予測して、羽田空港の開発にも携わった。この事業も軌道に乗りかけたところで、他人に譲り渡している。昭和初期の不況期以降はビル、ガス事業、などを中心に複数の企業の役員として、企業経営に従事した。アメリカ

力の物質文明の凄さを知り尽くしていた父は、太平洋戦争への無謀な参戦には個人的には反対していた。何時も明治維新からの官僚政治と軍部の横暴には批判的であった。昭和20年我が家はまたしても、都心の2箇所の家を失った。引越し準備中で、全てを爆撃と焼失で失った。住宅地の土地は防空壕に住み着いた在日外国人の方に奪われた。父は裁判で争わなかった。

戦時国債・郵便貯金は全て「徳政令で没収」となり、我が家はGHQ命令で「不在地主」として田畑も失った。戦後、父はGHQ幹部の顧問を短期間で辞退した。まるで映画やドラマの中の世界である。3代目の私も人を助けて裏切られていく。それでも私は奉仕活動はやめるつもりは無い。今、私は3つの組織・団体で奉仕活動をしている。小学生の私に父はしばしば板垣退助・大隈重信・中野正剛・石橋湛山の話をした。これは私の原点となった。

父の予言①「アメリカ人には素晴らしい人が多い。しかし国家としては恐ろしい国だ。」②「人類は最後は種子（たね）を支配した者、国が残る」今、

モンサントのGM種子に注目したい。父とは中学3年時に死別している。

## 卒業45年目の ホームカミングデー感想

佐伯 基憲（昭45法）



卒業45年目のホームカミングデーで、10月19日の稲門祭に参加しました。当日は晴天で、気持ちのいい一日でした。朝、サークルの仲間と式典へ。終わって大隈庭園の世田谷稲門会出店で冷えたビールを一杯頂き、旧図書館前でクラスの仲間と落ち合い、大久保近くの中華料理店で昼食懇親会。経年変化著しい、第一法学1年6組のクラスメート10名が集う。残念ながら、島耕作で有名な弘兼憲史君は他用で欠席。かく言う私は、「部長島耕作」最終巻に「田村基憲55歳、最近五井物産の取締役に就任した」クラスメートの一人として登場しています。

歓談2時間半ほどでクラス会を終わり、サークル同期と

文学部前のサイゼリアで再び合流。既に21名が集まり宴たけなわ。久しぶりに会う仲間も多いが、少し話せば半世紀前の学生時代に返ることが出来ます。

サークルの名前は「歩行会(あるこうかい)」。1961年、安保闘争の翌年に創立されたワングルの同好会です。我々は8期で、私が幹事長を務めました。早稲田では、60年安保の後に数多くのサークルが生まれましたが、今も続いているのはさほど多くは無いようです。お蔭さまで歩行会は今も健在で、今年の1年生が56代目、OB/OGは800人を超えています。

最近キャンパスを歩いていて感じることは、女子学生が増えたなという点です。私は昨年度まで13年間、理工学部経営システム工学科で非常勤講師を務めました。初めの頃は大教室に女子が4〜5名でしたが、今は20名程に増えています。最近政府が女性活躍推進を声高に叫んでいます。母校では既にその舞台が整っている感があり、歩行会でも、今年55代目にして初めて女性幹事長が誕生しました。誠に時宜を得た結果であると

思います。

私は大学も企業も、永続することが第一の社会的使命だと思つています。「継続は力なり」は先輩から受け継いだ歩行会のモットーですが、50年を超えて今も続いている要因を考えると、山登りや町歩き、文学散歩や古寺巡礼など、「歩く・見る・感じる・考える」を理念とする、多様性と柔軟性にあるように思います。

組織は、時の移ろいと共には変わりますが、建学・創業の理念や価値観を共有し、多様性と柔軟性、そして人に対する思いやりの精神をもつて諸事に対応し、永続を図って行くことが、益々大事になるのではないのでしょうか。

今年のホームカミングデーは、あらためてそのようなことを考えるいい機会でした。母校の永続と益々の繁栄を念じつつ。

「フォークダンスとトルコ」

小林昭一郎 (昭41政経)



皆様、トルコという何を

思い出しますか？地理的には面積は日本の2倍、人口は半分強です。アルコールの好きな方なら料理のシシカバブーでしょうか。あるいは歴史に強い方は1890年(明治23年)のトルコ軍艦エルトゥール号の遭難事件でしょうか。この事件は和歌山県串本沖で台風の中、座礁し587名が死亡となった大惨事でした。そして、このときの救助活動や日本政府の尽力が伝えられると、トルコの人々は一層、日本に対して親近感を高めたということですね。これから小生がトルコの人々に心打たれたお話をしたいと思います。

私は今年の5月から玉川会の会員の奥様のご紹介でフォークダンスの会に入会いたしました。実は小生、カントリー&ウエスタンが大好きでフォークダンスにも興味があり入会したわけです。今までフォークダンスは未経験で新たな挑戦でした。まず、村上先生の指導で基本的なステップを教わる。しかし頭で考えているように脚が動いてくれないのです。そのもどかしさと言ったら！

2時間のレッスンはあつと

いう間に過ぎていきました。フォークダンスというところから「オクラホマミキサー」しか頭に浮かばない小生ですが、現在日本ではトルコ、スイス、イギリス等3500曲もの踊りがあるそうです。

このフォークダンスの会に過去何回か来日し、トルコのダンスを熱心に指導してくださっていたバフリ先生が昨年急逝され、その一周忌の会が先月日本で行われました。バフリ先生は村上先生のご息子がトルコに舞踊の調査、研究に行つた時、お世話になつた方でありました。またこの一周忌の会にはカナダからフォークダンスの世界的な指導者であるイブモロー夫妻やトルコ

からカラデミル氏も来日し、盛大な会が行われました。日本から約9000kmも離れたトルコからバフリ氏の奥様、弟さん、ご家族の方々など15名の方が来日され、故人を忍びながら講習と親睦のひと時をすごしました。トルコからの方々は日本の仲間が故人を偲んで催した一周忌の会に大変感動し、涙を流して喜んでおりました。これこそ心と心を繋ぐ民間外交だと心が熱くなりました。

最近、近隣諸国との摩擦が絶えない日本の現状を見るにつけこうした「草の根」の外交こそ大切にしなければいけないと考えさせられた次第です。

早稲田大学出身の落語家、ヴァイオリン漫談家による 第三回「稲門密席」開催

平成二十七年五月一日(金)午後六時開演

三軒茶屋・キャロットタワー一階・シアタートラム

出演

柳亭燕路・林家久蔵・柳亭こみち・マグナム小林・前座 木戸鏡・三千円

チラシに貼付の「払込取扱票」に、ご住所・ご氏名をご記入の上、ご送金下さい。

チケットを郵便でお送りします。

先着二百名様でメ切らさせていただきます。(富塚 兆弥/記)

世田谷稲門会 会員異動状況 平成26年10月31日現在

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	FAX
三枝 郁夫	昭39	商	個人情報につき不掲載			
佐藤 喬	昭46	理工				
吉岡 精一	平9	理工				
横山 修	平6	理工				
岩佐 保	昭21	政経				

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由	備考
天野 宏美	昭50	理工		
田中 文克	昭33	政経		
北嶋 敦子	昭36	文		
西尾 友久	昭40	文		
福岡 喜正	昭52	政経		
山田 有宏	昭31	法		

〔退会準会員〕

正会員名	準会員名	理由	備考
辻 哲	辻 啓子		

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	備考
鷺巣 俊子	昭44	文				
西村 准也	平17	商				
大田 隆	昭45	商				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
鷺巣 俊子	昭44	文				
寺西 真里	昭61	教育				
尾崎 克太郎	昭43	政経				
西村 准也	平17	商				
大田 隆	昭45	商				

事務局からのお願い；

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話&ファックス 03-3305-4650

e-mail; shinoshoko@gmail.com

編集後記

たった12ページの世田谷稲門会会報ですが、年3回500名の会員の皆さんに会としての活動情報、ブロック会、趣味の部会や会員の皆さんの声をお届けし、楽しみに待っていただいています。原稿はデジタルデータで送付いただくものがほとんどですが、中には手書きの原稿をFAXや郵送いただく方もいて、達筆な方が多く苦勞しています。またデジタルデータで送付いただく中には、メール本文に記載される方、WORDやEXCELを添付いただく方など、様々です。編集者としてはWORD添付がベストです。

一番苦勞するのは原稿の長さです。執筆する方はどうしても思い入れがあり、カットはしないでほしいとの依頼も多いが、スペースは限られているので、どこかを長くすればどこかを削除しなければなりません。お願いした文字数をお守りいただきたいものです。やむなく編集者判断で一部カットする場合があります。ご容赦をお願いします。

(榎並 俊一/記)